

PlanT (多摩平の森産業連携センター)の活動を紹介します

チャレンジショップで2店が新規オープン 「15do」、「Think Eco Shop」

「15do」オーナーの高橋豊子さんは、ビーズ刺しゅうとコラーージュの要素を組み合わせたオリジナル技法「ビーズコラーージュ」を考案したハンドメイドクリエイターです。これまでオンラインで作品の販売やレッスンを行ってきました。今回、直接レッスンと販売ができる場所を探し、チャレンジショップへ入居しました。

「Think Eco Shop」オーナーの堀江章さんは、グラフィックデザイナー歴25年。アメリカで8年ほど暮らした経験や、帰国後八王子市内の田畑でオーガニック農業などに携わった経験を生かし、環境問題に配慮した洗剤の量り売り販売をするお店をオープンさせました。

市では創業を目指す方々の支援を行っています。ぜひPlanTチャレンジショップにお立ち寄りください。

15do オーナー高橋豊子さん

ハンドメイド作品、みんなの「できる」を叶えたい！

15doは、ハンドメイド作品を「買いたい」「売りたい」「作りたい」「教えたい」と考えている方の「できる」を叶えるお店です。一期一会のハンドメイド作品との出会いを通して、それぞれの作品が持つ良さを伝えていきます。

高橋さんは「“ハンドメイド＝趣味”から“ハンドメイドはお仕事です!”といえる人を増やし、長く続けられる

仕事にするためのスキルを伝えていきたい。ハンドメイド好きの方がほっとりと集まれるお店にしたい」と語りました。



Think Eco Shopオーナー堀江章さん

地球に優しい生活雑貨とリフィル(詰め替え)の店



お店がありますが、多摩地域にはほとんどないため今回チャレンジショップに応募しました。堀江さんは「多摩地域の人々の生活ごみや身近な環境問題を考えるきっかけになるよう、持続可能な社会に向けた取り組みを、このお店から発信していきたい」と意気込みを語りました。

Think Eco Shopでは、脱プラスチックを目的とした洗剤やシャンプーなどのリフィル(詰め替え)による量り売り販売を行っています。このような販売の形は欧米では一般的で、日本でも23区や湘南などには多数



市内事業者を対象とした「ひのSDGs大学」を開催

ID 1019454 関 産業振興課(☎042-514-8442)



市では、市内事業者

に向けSDGsを知ってもらい、自社のSDGs宣言を作成すること

を目的に、PlanTで「ひのSDGs大学」を開催しました。

講師には、市とSDGs推進に関する包括連携協定を結ぶ三井住友海上火災保険㈱の五十嵐朋人氏を招き、第1回「事業者がSDGsに取り組む意義(講義)」、第2回「SDGs経営を通じて地域課題を解決する(グループワーク)」を行いました。最終日は、以下8社が自社のSDGs宣言の発表を行い、今後のSDGsへの取り組みについて語りました。市では、今後も市内中小企業に向けてSDGsを推進する取り組みを実施していきます。

【SDGs宣言企業】※各社のSDGs宣言は、市HPで公開中
(株)アコス、(有)A&Dネットワーク、(株)SUGARS、千代田運輸㈱、(株)日野環境保全、南観光交通㈱、(株)ミュージアテック35、山田設備工業㈱

ひのを良くするビジネスアイデア募集 PlanT ピッチ vol.1

ID 1003487 関 PlanT(☎042-843-3215)

ピッチとは短いプレゼン大会です。こんなビジネスがあったら、もっと日野が良くなる、住みやすくなる、楽しくなる！そんなビジネスアイデアを募集します。

出されたアイデアに対し専門家がアドバイスをを行い、ブラッシュアップを行います。発表の様子は、アーカイブ動画を公開します。ピッチに向けて、「ビジネスアイデアを考えた」、「どのようにまとめればいい？」などご相談も受け付けています。



日6月11日(土)午後1時～3時 関 PlanT(多摩平の森産業連携センター) 対 ビジネスアイデアをブラッシュアップしたい方 定 申込制で7人 他 ピッチ終了後、名刺交換会を予定。申し込み方法など詳細はPlanTHP参照

憲法記念日行事講演会

AIとカラー化した写真でよみがえる
戦前・戦争～『記憶の解凍』と交感性

ID 1019444 関 平和と人権課
(☎042-584-2733 FAX)042-584-2748)

当時の人々の暮らしに思いをさせ、戦争や平和について「自分ごと」として想像し、平和とは何かを考えてみませんか。

日5月22日(日)午後2時～4時 場 多摩平の森ふれあい館 関 庭田杏珠氏(東京大学学生) 他 1歳～未就学児の保育、手話通訳あり※5月10日(火)までに電話またはファクスで申し込み 用5月17日(火)午後5時までに電話またはQRコードから

▶パネル展示

日5月14日(土)～22日(日)午前9時～午後5時15分
場 多摩平の森ふれあい館



▲庭田杏珠氏

市長のうごき

ID 1008201 関 市長公室秘書係 代表 ☎



▲開所式テープカットの様子

令和元年12月から建て替え工事を行っていた「南平体育館」が4月1日にオープンし、開所式が同日に行われました。

※「市長のうごき」は、市HPをご覧ください▶



都立日野高校美術部が全国高等学校総合文化祭へ5年連続で出品

ID 1018909 関 文化スポーツ課(☎042-514-8462)

都立日野高校美術部の作品が、7月31日(日)、8月2日(火)～4日(木)に東京都美術館(台東区)で開催の全国高等学校総合文化祭の美術・工芸部門に出品されます。

令和2・3年度に出品した佐藤愛莉さん(日野高・一中出身=写真左)と令和4年度に出品する藤山涼音さん(日野高3年=写真右)が3月22日に市長を表敬訪問し、文化・スポーツ功労者顕彰を受章しました。



▲表敬訪問の様子

みんなのふとこぼれ話 55 勝五郎江戸へ行く

ID 1019204

関 郷土資料館
(☎042-592-0981)



文政6年(1823)4月5日、前世の記憶を語って「ほどくぼ小僧」と評判になった勝五郎と父の源蔵は、中野村(八王子市)から江戸へ向かいました。勝五郎の生まれ変わりの物語が江戸でも評判となったので、領主で旗本の多門伝八郎が、事情を聴くために呼び寄せたのでした。

中野村から江戸まではおよそ10里(約40km)で、1日の行程です。父の源蔵は、目籠の仲買を家業としていて江戸にはたびたび出掛けていたので、慣れた道のりでしたが、8歳の勝五郎が江戸に行くのは初めてだったかもしれません。

取り調べは、19日に根津七軒町(台東区池之端)にあった多門の屋敷で行われ、父源蔵が事情を説明しました。この時の、詳細な取り調べ記録の写しが残されています。

その後勝五郎は、国学者平田篤胤の学舎気吹舎に招か

れて、3日間生まれ変わりの顛末の聞き取り調査が行われました。この時は、勝五郎がたどたどしく自分で話をしました。多門の屋敷も、湯島天神男坂下にあった平田の学舎も、上野不忍池の周辺にありました。春爛漫の上野の山は、勝五郎の目にどのように映ったことでしょうか。

父子は26日に中野村へ帰りましたが、2年後の文政8年、勝五郎は気吹舎の門人となって、1年ほど寄宿して学ぶことになりました。

今年11月で、勝五郎が生まれ変わりを語って200年を迎えます。郷土資料館では、さまざまな記念の事業を計画しています。



▲「勝五郎再生記聞」多門伝八郎の取り調べ記録